

高い志を持っていざ防衛大学校へ



青野さんご家族

桜咲き誇り晴れやかな新年度を迎えた4月1日(土)、自衛隊での新生活に臨む学生がいる。防衛大学校(神奈川県横須賀市)の学生達だ。この日、神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 荒木陸3佐)から9名の若者が大きな希望と少しの不安を胸に防衛大学校の門を潜った。

防衛大学校の学校案内には「一般大学にない4年間で待っています。あえて言いましよう。キツイです」の一文がある。それでも彼らは将来、日本の防衛を担い、国民の安全・安心を守り抜き、世界平和に貢献する自衛隊のリーダーとなるべくこの大学校を目指した。

入校生の青野朔土さんは「卒業後は国防の最前線で勤務をし、ゆくゆくは防衛力強化に尽力したい。同期と助け合い、4年間を将来の幹部としての自覚と素養を身につける場にしたい」また、櫻井響さんは「父と同じ海上自衛官を目指し、努力を惜しむつもりは微塵もありません」。宇野雄太さんは「不安な反面、とても楽しみにしています。自衛官としての自覚を持ち仲間と共に困難を乗り越えていきたい」とそれぞれの思いを語ってくれた。

緊張した表情からは強い決意と情熱が感じられ、しっかりと前を向き自分の将来の目標に向かって歩いて行く彼らの後ろ姿が印象的だった。

頑張れ新たな自衛隊員たち！ 所長・広報官が入隊式に参列

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 内山1空尉)は、令和5年4月7日(金)、海上自衛隊横須賀教育隊で行われた一般曹候補生、自衛官候補生及び自衛官候補生(女性)の入隊式に参列し、同所から入隊した12名の新たな門出を祝った。当日は風が強かったものの、穏やかな日差しの中に桜吹雪が舞う入隊式日和となった。入隊式前には、横須賀音楽隊による行進曲や馴染みのあるアニメ曲等の素敵な演奏が披露された。会場にいた全員が聞き入り、曲が終わるたび参列家族等から拍手が沸き上がった。入隊式が始まると、真新しい制服に身を包んだ新入隊員達は、緊張した面持ちで式に臨んだ。着隊から10日あまりであったが、一糸乱れぬ起立は、会場の床が揺れるほどであった。家族等が見守る中、一般曹候補生及び自衛官候補生の隊員それぞれが力強く服務の宣誓を読み上げ、式典後には担当広報官と再会し、安堵した表情で記念写真を撮る姿も見受けられた。

神奈川地本は、引き続き入隊者及びご家族に対するフォローを継続的に実施するとともに、様々な自衛隊の活動の広報を通じて、若年層に職業としての自衛隊をアピールしていく。

